

食べ物の大切さを感じる産直産地ツアー

報告

7月25日～26日 (28名参加)

イサミ吉備高原牧場(産直牛肉の産地)・おかやま酪農業協同組合(生協牛乳の産地)へ行き、生産者と交流し、牛のエサやり体験などをしました。

岡山モーモーツアー



牛にエサやり(イサミ)



こちらは乳牛がたくさん(おかやま酪農)

酪農家志望の僕にとって今回のツアーはとても貴重な体験で、将来の夢に向けて希望がふくらみました。僕は今回、牛を生で初めて見ました。牛にふれたのも初めてで、酪農家さんや肥育をする農家さんと話すのも初めてで、とにかくなにもかもが珍しかったです。とてもよい経験を知りました。
(交野市 柏本くん 12歳)



日頃、スーパーで買い物をしていると思えない部分をたくさん知る事ができてよかったです。生き物を相手に、毎日愛情こめてお仕事をされている生産者の方々がいてくださって、自分たちがおいしく安全な食べ物を口にできるという事は、本当に恵まれている事と感じました。価格が何かと高騰しているの、どうしても低価格のものに目がいきがちですが、同じものを提供するのに価格差があるのは、やはり手間のかけ方、安全性に違いがあるということも改めて実感できました。
(鶴見区 村松さん)

夏休み子ども企画

7月29日、8月19日開催

パルコープ 物流センター見学ツアー

「商品の届く仕組みや、パルコープの施設を子どもたちにもっと知ってもらいたい」と「物流センター見学ツアー」が開催されました。総勢37名(うち子ども20名)の方が参加され、商品が届くまでの様子などを見学しました。



「アスパラは向きを揃えて袋詰めてね」

このせいきょうは、みんなに安心して食べてもらうためにいろいろ工夫しているので、すごくやさしいんだと思いました。ゴールドキウイの袋詰めも初めてしてうれしかったです。ものすごい寒い所もぼくたちのためにやっているのすごくありがたいです。
(枚方市 畑くん 10歳)



ゴールドキウイの袋詰め体験

お米の鮮度を検査薬で調べました

夏休みにすばらしい企画をありがとうございました。野菜なども鮮度を保ちながらベストの状態でお出荷されているのを見て、改めてこれからも生協さんで購入しようと思いました。農業、添加物などの話もわかりやすく、クイズ形式でもおもしろかったので、家に帰ってから子どもが父親に説明していました。
(枚方市 I・Kさん)

2台のバスで出発した「第4回東北応援バス」は、7名の小学生を含む初参加の方が29名。陸前高田市では、午前中は雨で作業ができず、気仙沼市にある「リアスアーク美術館」で震災当時の写真や被災物の展示を見学。瓦礫から発見されたひとつひとつのモノへ思いのこもったコメントに涙する人もいました。大槌町では、トルコキキョウのビニールハウスで、草刈り。刈り終えた草を眺め充実感と共に汗を流した爽快感で、疲れを忘れてみんな笑顔でした。



NO.70

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

被災地では、津波到達区域のかさ上げ工事と高台での復興公営住宅や自力再建住宅の建設が急ピッチで進められています。現地を訪れてもらっている組合員さんと、職員の誰もがその変化を感じとってもらっています。

岩手県の陸前高田市と大槌町では、かさ上げ工事後の「街づくり」の具体化が始まり、海側は復興公園地区に、山側は商業地区や住居建設が認められるという計画です。その中で公共交通の駅がどこに決まり、街の中心部がどこになるのかが商売人の皆さんの最も大きな関心事です。震災後に仮設で営業再開されている「旅館」や「飲食店」の個人事業者さんは、再開時の持ち出し費用のローンとこれから本設で要する資金繰りに悩んでおられる姿が多くあります。まだまだ行政からの補助制度の必要性を感じるところです。

一方、仮設住宅に暮らす世帯が今もピーク時の約6割となっています。住宅建設の土地確保に時間を要しているだけでなく、復興公営住宅では仮設住宅とは異なり世帯収入により家賃や、駐車場代や共益費も発生し、「ずっと仮設住宅のままが良い」との意見も聞かれます。また新しい住まいでのコミュニティづくり(孤独死を出さない)もこれからの課題です。

東北応援バスには今も「初めての参加」という方も多くおられます。11月は職員研修でいわて生協の復興祭りや津波到達点に桜を植樹する活動に参加し、12月は2回の東北応援バスで組合員さんが仮設住宅での昼食会(いわて生協のとりくみに合流)や全国から集まる「サンタ100人がやってきた」企画を計画しています。一緒にいかがでしょうか。

(岩手県遠野市に常駐するパルコープボランティア事務局・林さんより)



ずっとボラの会(東北応援バス参加者の有志の会)よりお知らせ

<今後の予定> ぜひ、お立ち寄りくださいね。

日程	会場
11月1日(日) 10:00~16:00	守口市民まつり(京阪[守口市]駅そば京阪百貨店駐車場)
11月7日(土) 10:30~14:30	ライトハウスまつり(鶴見区今津中2丁目)
11月8日(日) 10:00~15:00	忍ヶ丘店
12月13日(日) 10:00~15:00	ながお店

パルコープの店舗一覧はこちら。
<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>

店頭で東北グッズ販売と募金活動などを行いました。
◎星ヶ丘店(10月4日) 売上げ36,800円と募金1,981円

パル・よどがわ・なら組合員さんの

2015年度 第4回 東北応援バス報告

(8月21日～24日) 61名参加

私ははじめて東北応援バスに来て、あまりわかりませんでした。大学で生の人たちに教えるつもりで、作業ができませんでした。1日目の草むしりは、たくさんむしりて、気持ちよかったです。語り部さんのお話で「自分が助からないと助けられない」という言葉が心に残りました。私はこの4日間で震災というものをふかしく知り、支援してあげたいと思います。

(住吉区・堀さん 11歳)



ビニールハウスの中は草だらけでしたが作業後はすっきりきれいに



よどがわ生協・ならコープ合同企画

お1人でもご家族でも

第6・7回「東北応援バス」参加者募集

企画回	実施日	3生協定員	申込締切
第6回目	12月23日(水・祝)～12月26日(土)	60名	11月20日(金)
第7回目	12月28日(月)～12月31日(木)	60名	11月30日(月)

今までに参加された方も、申し込みを受付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めてのの方が優先です)。

【参加費】中学生以上 お1人 12,700円
小学5・6年生 お1人 9,700円

※小学生はかならず保護者同伴でご参加ください

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バスで行きます

- 1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時予定)(バスで移動、車中泊)
- 2日目 岩手9時頃着、ボランティア活動、被災地視察(夜は宿舎泊)
- 3日目 ボランティア活動 (バスで帰阪、車中泊)
- 4日目 パルコープ本部前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、小学校5年生以上の方。複数名参加可。

- *活動内容と場所は、現地での要請に基づきます
- *持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内します
- *宿舎は男女別・相部屋です
- *参加費には、ボランティア保険・宿泊費などを含まます
- *天候不順などにより中止になる場合があります

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組合員活動部
☎06-6242-0904 (月～土 9時15分～18時)

ご協力ありがとうございます

東北支援募金の状況(2015年3月21日～2015年9月20日)
14,897,934円 (この金額には2014年度繰越金・注文書での募金・店舗などに設置の募金箱・ずっとボラの会での物販などを含まます)

※ ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>